



# Try! up!

Petit  
Renewal

『Try! up!』は20号を機にプチリニューアル。より皆さんと「つながる」紙面を目指します!

Vol. 20 [2016年6月20日発行]

## 『看護過程の展開』の面接授業が行われました!



5月7日～5月18日までの間、基礎看護学の科目『看護過程の展開』の面接授業が3日間の日程で3クール行われました。今年度は約160名の学生が受講し、看護過程の概念と構成要素を学習しました。併せて、本校の紙上事例演習に使用している「ヴァージニア・ヘンダーソン」の看護論とそれに基づく看護過程の展開について講義を受け、自然気胸患者の科学的根拠に基づいた看護の展開方法の実際をグループワークを通して学習しました。



ほとんどの学生は初めての看護過程の展開でしたが、グループメンバーで協力し合い、看護問題を抽出し、その計画を立案しました。発表会では、グループ間での質疑応答から事例患者の理解や疾患の知識も深まり、看護を考えることができました。



学生からの感想を紹介します。

- ◆グループ学習で他の学生と一緒に取り組み、自分の考えと違う視点があることを知り、とてもためになりました。それぞれ違う意見を出し合うことで、考え方がつかめてきたような気がします。
- ◆解剖生理や病態がわからないと対象を理解できないこと、経験も必要だと思いました。
- ◆「分析・解釈」を文章で表すのが難しいと思いました。今まで以上に病態等を勉強したいと思います。
- ◆看護過程の展開は難しいので、今後自分で学習して理解を深められたらと思っています。
- ◆大切な分野だと理解できるが、一人で展開していくと思うと大変だと思いました。

これから紙上事例演習(看護過程の展開)がスタートします。2年間を通してさまざまな対象の看護を考えていく中で、看護師に必要とされる「科学的根拠に基づいた看護を実践できる力」が養われていきます。

## 東北福祉看護学校公開講座

### 『看護職のためのトライアップ研修』始まりました

5月29日(日)本校初めての公開講座『看護職のためのトライアップ研修』がスタートしました。第1回は、東北福祉大学福祉心理学科長の渡部純夫先生を講師に迎え、「施設で働く看護職のためのコミュニケーション」をテーマに学びました。

講義は、講師の言葉や動きに合わせて動いたり、会話をしたりなどグループワークを中心に進められました。参加者同士が言葉を使わずにコミュニケーションを取るワークでは、身振りや表情のみで相手に伝えること、相手が何を望んでいるかを察することの難しさを改めて感じ、自分とは異なった立場から物事をみて考え相手に伝えるワークからは、立場や枠にとらわれやすい人間の内面についての気づきがあるなど、実感を通して学べる場となりました。

また、講義の最後には、参加者が現場で抱えている悩みについて、講師と対話しながら解決の糸口を探るといった場面も設けられました。

一日を通して会場には驚きの声や笑いが絶えず、皆さん楽しみながら受講されている様子でした。終了後には「実際に講師の対応を見ることができ、とても参考になった」「体験しながら学べて、とても分かりやすかった」などの感想をいただき、「コミュニケーション」に大切なものは何かを気づき、振り返ることのできる貴重な時間となりました。

『看護職のためのトライアップ研修』は、地域で活躍する看護職のために、より実践力を身につけ現場対応力を高める「学びの場」として、今後も定期的に開催してまいります。

次回は7月24日(日)、仙台楽生園ユニットケア施設群グループホーム楽庵管理者の小関ゆみ先生を講師に迎え、「施設で働く看護職の職務」について学びます。看護職ならどなたでもご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。



## 基礎看護学

「基礎看護学は、  
看護を实践するうえでの土台となる  
概念、方法論」

小野寺 敏江 先生



看護職として療養上の世話や診療の補助を行うためには、倫理観に基づいた看護観をもち、科学的で正確な知識と技術に裏付けされた、より安全でより安楽な方法であることが望まれます。その土台となるのが基礎看護学です。看護技術には実施者の人間観・看護観と技術が反映され、また、看護の対象は多様であるがゆえに、生活の場の状況や対象者の状況によって個別性に合わせた方法で行う必要があります。科目「日常生活の看護技術」は、療養上の世話の中核となる看護技術です。これまでの臨床経験から得られた「知っている」看護技術を根拠に裏付けられた「知識」として学習することで、個別性に対応していくことができます。自己の経験を再考しながら「根拠」を理解する学習をしていきましょう。

「健康障害をもつ対象の  
診療過程における  
看護を学ぶ」

倉林 恵子 先生



看護の対象者の多くは何らかの健康障害をもつ人々です。診療の補助を行うことは、健康への回復を支援する私たち看護職の重要な役割です。科目「診療に伴う看護技術」では、健康状態の経過における看護の特徴、診療に伴う看護技術を学習します。診療の目的や治療の特徴を理解し、呼吸・循環を整える技術、創傷管理や与薬の技術、診察・検査の介助技術について学びます。実際に臨床現場で行われている看護技術の原則を理解し、安全・安楽に実践できるように学習をしていきましょう。

## 薬理学

「臨床で最適な薬物治療を  
行うための  
基礎知識を習得」

東北福祉大学せんだんホスピタル  
医療技術部 薬剤科 薬剤師  
佐藤 慎 先生



薬理学とは、薬物と生体の相互作用の結果起こる現象を研究する学問であります。本校では各疾病に対する薬物療法を中心に、薬物動態学、薬事法など幅広い分野に及んで学習していき、臨床で最適な薬物治療を行うための基礎知識を習得することを目的としています。

よく看護学生の方から薬理学が分からないという声を耳にします。確かに覚える内容の多い学問であることは間違いありません。学生の多くも暗記力が求められる学問と考える方が多いようです。しかし、実際には暗記力だけでなく理解力も求められる学問であります。

薬物治療を戦闘と例えた場合、薬を武器とし、薬理学を戦術と例えることができると考えます。要するに、薬理学とは相手(病気)の特性を理解した上で、相手の弱点を突くにはどのような視点から、どのような流れで攻撃すればよいのか、そのメカニズム(作用機序)を理解する学問であると私は考えます。従って、理解力を高めるためには病態生理学や生物学などの基礎知識が重要となってきます。薬名や効果、副作用を暗記するだけでなく、その根本となる原因を追究することで、より薬理学に興味を持てるのではないのでしょうか。臨床の場においてより薬理学に習熟し、さらなる薬物療法の発展に貢献していただきたいです。



このコーナーでは、各領域の先生方から「看護を学ぶこと」について寄稿いただきます。

## 学生通信

### 楽しみながらステップアップ

赤石 真理子 さん (青森県・40代・病院勤務)



准看護師になる前は美容師として働いていた私。そんな私が人生の転機を迎え、看護の道へ足を踏み入れることになったのは、看護師をしていた母が病気になった事がきっかけでした。母の姿を見て幼い頃から抱いていた「将来は自分も看護師に」という想いが、母の病気というショッキングな出来事によって大きくなり、はじめの一步を踏み出す事となったのです。

そうして准看護師となること早10数年、次の大きなステップである「看護師」を目指し、同僚も通っていた本校にやっと昨年入学しました。いざ入学してみると、放送大学を先行して学習していたとはいえ、仕事や家庭と両立さ

せながらの学習は本当に大変。知らず知らずのうちにストレスが溜まり、時には体に症状として現れることもありました。そんな時は「ここまでできたから、次もきっと大丈夫!」と自分に言い聞かせるとともに、周囲からの応援を力に変えることで、何とか乗り越えてきました。

2年目となった今、大変ながらも積み重ねてきたことが確実に自分自身の力になっていると感じ、嬉しくなることがあります。経験の上に知識が加わった事でこれまでとは視点が変わり、部分的にしか見えなかったものが一連の流れとして見えるように。そして、先生がよく口になさる「根拠」を意識して考えることの大切さも、だんだん分かってきたように感じます。

日々の学習で得られるものは、試験に合格するためだけの知識ではなく、看護師に不可欠な「考える力」。自分の成長を楽しみながら、広く深く物事を考えられる看護師へとステップアップできるよう、歩みを進めていきたいと思えます。

## 国家試験対策

### 虎の巻

其の二十一

土台を固めるように  
学習していきましょう

国家試験対策担当  
倉林 恵子 先生

青葉のよい季節になりました。

さて、2年生の皆さんの4月～5月の国家試験対策講座等の受講率は60～70%でした。国家試験オリエンテーション、専門基礎分野の「人体の構造と機能」「薬理学」、専門分野の各領域の講座を行いました。早期に国家試験の出題の要点を捉え、それを意識しながら学習を進めていけるとと思います。参加できなかった方は、送付した資料をぜひ活用してください。

続けて、国家試験の得点率が低い「人体の構造と機能」「疾病の回復と促進」の模擬試験を在宅受験してください。そして、案内した「人体の構造と機能」の講座を受講することをおすすめします。これらの内容は、看護師国家試験の一般問題の1割以上出題されます。大事な基本的知識です。レポート課題や紙上事例の学習等に取り組む中で、また、まもなく開始される臨地実習の中でも、毎日コツコツと少しでも一つでも確実にしていきたいと思います。

また、一般問題の出題に2～3行の長文の問題が増加しています。これは、問題を読解してアセスメントする能力を評価する出題ですので、長文を短時間で読み解く力を日頃から心がけておくことも対策につながります。

さあ、日頃の学習の積み重ねが国家試験の合格につながります。焦らないように今から一つひとつ着実に進んでいきましょう。

# 私たちがバックアップします！ 看護の現場から

From the Spot

～ 第9回 大崎市民病院 ～

本校創立からこれまで

10名を超える職員の入学を果たした、  
大崎市民病院。

忙しい日常業務の中で、  
どのような視点や手法で

職員の「学習」をバックアップしているのか、  
どのような思いで職員を送り出したのか、  
遠山優子総看護部長にお話を伺った。



遠山 優子  
総看護部長

准看護師が看護師を目指す最大の利点は  
どこにあるでしょう。

本院は600名ほどの看護師が在籍していますが、そのうちの5%くらいが准看護師の皆さんです。数としては少ないのですが、きちんと仕事ができる人たちが勤め続けているのだと感じています。だからこそ、ここで学びを深める機会を得ることができれば、彼女たちをもっともっと強い看護師になってくれるはず。「看護過程の展開」ができるようになり、自分のケアをきちんと理論で展開し、可視化、記録のできる看護職のプロへと成長できると確信しています。

そのためには、学習機会の情報提供や、各師長からの後押し、また勤務環境の整備などが求められます。本院では通学のための休みを「特別休暇」として付与し、自身の有給休暇を消化しないで済むように配慮。また、それぞれの病棟で、勤務調整を優先的に行ったりしてバックアップをしています。

看護師の学びは、教育内容もその覚悟も准看護師とは違うもの  
ですので、ぜひチャレンジしてほしいと願っています。

職員の学びは職場に影響を与えますか。

正直、私も「学びたい」という意欲を持ち続けています。今のこの時代、医療は高度化、専門化、複雑化して日進月歩の毎日です。加えて地域包括ケアシステムやヘルスケア事業など、看護職はあらゆる場面でその力を発揮できる機会があるのです。

ただ、場面は変われど看護の基本となるケアは同じ。その基本を忘れないようにするためにも「学び」は大切です。部下たちが学びを深めてくれることは大歓迎です。その学びを職場にフィードバックしてもらうことが、看護部全体の質の向上につながるのだと思います。

東北福祉看護学校に通う職員の皆さんに  
期待することは。

「看護のすばらしさ」を改めて、学びの中で気づいてほしいと思います。日々の学びを患者さんに還元できるように実践していくのが、看護職の役割です。

看護師免許の取得はゴールではなく、はじまりです。そこから看護職としての醍醐味を十分に味わってほしいと思います。

## 大崎市民病院

宮城県大崎市古川穂波三丁目8番1号



平成26年7月にグランドオープン。大崎・栗原医療圏約30万人を支える拠点病院として新たなスタートを切った。500床規模の施設と高度医療機器や医療設備を兼ね備え、県北唯一の救命救急センターを併設するとともに、地域災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院等の機能を担う。また、地域の医療機関との医療分担や医療連携を図り、圏内での医療の完結を目指す。

## 思いやりのある看護を目指して

千坂 美幸 さん (30代)



准看護師として10年になる頃、同年代の友人や同僚が看護師になってキャリアアップしていく姿に刺激を受け、迷わず入学を決めました。仕事と勉強と3人の子育てに追われる学生生活ですが、常に時間を意識し、何事も効率的に取り組むようになりました。

また、普段の仕事においては、患者さんとしっかりと向き合い、丁寧に話を聞くことの大切さを感じています。以前はあまり気に留めなかった患者さんの一言から、さまざまな状況を想定しケアに結び付けることができるようになったと思います。私の目標でもあり、当院看護部の理念でもある「誠意を持って、やさしさと思いやりのある看護」を提供できる看護師を目指して、これからも一步一步進んでいきたいと思っています。

## 学びから広がる可能性

遊佐 夏子 さん (30代)



私にはまだ小さい子どもが3人います。その子どもたちと向き合う時間も大切にしたいと思っていますので、勉強時間を捻出することが何よりの課題です。そんな私にとって、登校日を特別休暇として与えてくれる当院の制度は、本当にありがたいですね。知識と経験豊富な先輩たちからは、分からないところを教えてもらったり、職場のバックアップには大変感謝しています。

まだ入学して2ヶ月。大変ながらも学ぶ楽しさを感じ始めているところです。学校の勉強以外にも、日々の仕事の中で勉強する機会が増えました。疑問に感じたことはそのままにせず教科書で調べ、自分で考えるプロセスを大切にしています。これから2年間、さらに多くの学びを通して、自分の可能性を広げていきたいと思っています。

## 学校からの お知らせ掲示板

### ● 学習支援の予定

本校では、専任教員による学習支援を開催しています。学生の皆さんが円滑に学習を進められるようサポートしていきたく思いますので、是非、この機会を有効に活用してください。

内容は、レポート課題や紙上事例演習、国家試験対策、放送大学の科目の勉強に関する事などになります。内容(相談)に関するレポート、資料、テキストなど持参してください。

日時	会場/内容	担当教員
7月3日(日) 10:00~12:00	会場◆【秋田】放送大学秋田学習センター(秋田大学内) 内容◆学習全般	佐々木
7月6日(水) 10:00~12:00	会場◆【本校】仙台駅東口キャンパス 内容◆学習全般	村島
7月10日(日) 10:00~12:00	会場◆【青森】八戸地域地場産業振興センター ユートリー 内容◆学習全般	月原
7月23日(土) 10:00~12:00	会場◆【山形】酒田市総合文化センター 内容◆学習全般	中里
8月1日(月) 10:00~12:00	会場◆【本校】仙台駅東口キャンパス 内容◆学習全般	村島
8月5日(金) 13:00~15:00	会場◆【本校】仙台駅東口キャンパス 内容◆レポート課題「診療に伴う看護技術」	倉林
8月8日(月) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30	会場◆【本校】仙台駅東口キャンパス 内容◆①レポート課題「診療に伴う看護技術」 ②基礎看護学紙上事例演習1	倉林 小野寺

### ● オープンキャンパスのお知らせ

本校では、「学び」を体験し、自分が目指す看護師像を見つめなおす機会としてオープンキャンパスを開催します。

参加無料  
参加特典あり

第1回 7月20日(水)	第2回 9月4日(日)	第3回 11月13日(日)	第4回 2017年 1月11日(水)
<b>A 体験授業</b> 「フィジカルアセスメント」		<b>B セミナー＆ワーク</b> ① 私のキャリアデザイン ② 学生になった私の1日	
AとBの両方を体験することで、「学び」をより身近に感じ、目指す看護師像を明確にします			
*この他、学校説明会、校舎見学、個別相談も同日開催いたします。			

※詳細は、本校Webサイトをご覧ください。

### ● 東北福祉看護学校Webサイトをリニューアル!

「つながる・つかえる・みえる」をキーワードに、大幅リニューアル。さらに分かりやすいWebサイトに生まれ変わりました。

- ◆動画で分かる「Web学校説明会」を掲載
- ◆スマートフォンからも閲覧可能

【URL】 <http://tohoku-kango.com/>



## スケジュール

1年生【学籍番号が“16”で始まる学生】

### 教育課程

#### ①「基礎看護学」見学実習前面接授業

場 所：1日目 仙台駅東口キャンパス  
2日目 国見キャンパス

※「学生便覧」で確認してください

1回目：7月 2日(土)・3日(日)  
2回目：7月 9日(土)・10日(日)  
3回目：7月16日(土)・17日(日)

#### ②実習オリエンテーション

場 所：仙台駅東口キャンパス(51教室)  
日 時：8月7日(日) 10:00~17:00

#### ③平成28年度 前期単位認定試験

場 所：仙台駅東口キャンパス(教室1・53教室)  
日 時：8月21日(日)

11:05(オリエンテーション)~15:45  
科 目：「薬理学」「日常生活の看護技術」  
「診療に伴う看護技術」「精神看護方法」

#### ④レポート課題提出

科 目：「成人看護方法」「老年看護方法」  
「小児看護方法」「母性看護方法」  
期 間：8月4日(木)~8月18日(木)

2年生【学籍番号が“16以外”で始まる学生】

### 教育課程

#### ①紙上事例演習提出

紙上事例演習1(6領域)：6月30日(木)  
紙上事例演習2(6領域)：6月30日(木)

#### ②病院等見学実習開始(6領域)

期 間：7月4日(月)~9月30日(金)

### ● メール配信システムが新しくなります

学校から学生への情報配信はもちろん、学生から学校への返信が可能になり、ますます便利に、充実したサポートが受けられます。



\*以前登録されたメールアドレスに配信いたしますので、改めて登録する必要はありません。まだ登録されていない方や、登録後に変更された方は、本校までお知らせください。

